

## 関係代名詞⑤

ここからは、関係代名詞の中でも少し特殊な、**複合関係代名詞**を検討しよう。

複合関係代名詞には **what** と **whatever** がある。

これらは一見複雑に見えるけど、順を追っていくと考え方は単純だ。

まずは、**what** からいこう。

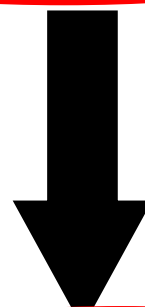
以下、例を使って検討していく。

例、

This is **the thing.**

これはその物だ。

この文から、



**the thing**

を抜き出す (前の This is は無視)

この

the thing

↑ だけに着目して

私はそれが欲しい。

↑ という英文を作ると、

I want it.

となる。

↑ この I want it. という文は、

**the thing** に関する文なので、

**the thing** の直後にくっつける。

すると、

**the thing** I want **it.**

となり、

This is を戻すと

This is the thing I want it.

となる。

この I want it という文に、

the thing を修飾させるには、このままでは  
ダメなので、

以下の表に基づいて関係代名詞  
に変換する。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞
それ	it	its	it	its
関係代名詞	which	whose	which	whose

↑ it に対応する関係代名詞は which なので

This is the thing I want which.

となる。

また、

関係代名詞は常に修飾する語句の直後に置くので、

This is the thing I want **which.**

This is the thing **which** I want.

となるね。

これで、I want it.に the thing を  
修飾させることができた。

これをどう日本語に訳すかということ  
関係代名詞の後ろから訳す  
(関係代名詞そのものは訳さない)。



関係代名詞 which の後ろから

the thing which I want.  
私が欲しい

物

「私が欲しい物」と訳す。

すると、

This is the thing which I want.

これは私が欲しい物だ。

となる。

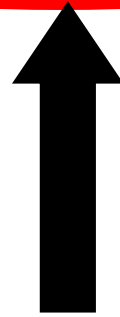
ここまでは関係代名詞 which の話だ。

今回は、こうしてできた

This is the thing which I want.

の

This is **the thing which** I want.



この部分を、

複合関係代名詞 **what** に置き換える。

すると、

This is **what** I want.

となる。

これが、what の使い方だ。

要するに、「複合」というのは、

the thing

↑ 関係代名詞で修飾される単語  
(先行詞という)

と、関係代名詞 which が

the thing + which

複合して



what

ができました

ということだ。

受験勉強でたぶん、

**the thing which=what**

というように覚えたと思うけど、構造を考えてみるとこういうことだね。

次のファイルではもう1つの複合関係代名詞

**whatever** をやろう。

これも理屈は同じだから、頭にスツと入ってく  
ると思う。

→関係代名詞⑥につづく